

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2025-12-13

市民活動資料：保存と公開の全国的状況

平川, 千宏 / Hirakawa, Toshiro

(出版者 / Publisher)

法政大学大原社会問題研究所

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

大原社会問題研究所雑誌 / 大原社会問題研究所雑誌

(巻 / Volume)

666

(開始ページ / Start Page)

78

(終了ページ / End Page)

89

(発行年 / Year)

2014-04-25

(URL)

<https://doi.org/10.15002/00010130>

市民活動資料 —保存と公開の全国的状況

平川 千宏

はじめに

- 1 「市民活動資料」とは何か
 - 2 「市民活動資料の所蔵機関・団体一覧」について
 - 3 どんな主題の資料が所蔵されているか
 - 4 資料を所蔵している機関・団体はどんなところか
- 付 市民活動資料の所蔵機関・団体一覧

はじめに

本稿では、全体として、市民活動資料について、どこにどのような資料があるかを示し、その資料の主題（内容）や所蔵機関・団体の傾向、特徴等を分析し、紹介する。

具体的には、1において「市民活動資料」とは何かを規定し、2において文末の「市民活動資料の所蔵機関・団体一覧」について説明し、3、4において「一覧」をもとにして、全体的な傾向を分析し、紹介する。

1 「市民活動資料」とは何か

「市民活動資料」とは何かを考えるにあたっては、まず「市民活動」とは何かを考える必要がある。「市民活動」については、「住民運動」、「市民運動」、「NPO・NGO」など類似の概念、用語があり、それぞれの意味や関係性についてさまざまな議論があるが、ここはそれについて論ずる場ではないので、さしあたって次の定義を借りておきたい。

「市民活動とは、市民たちが自発的に（自発性・主体性の原則）、他者や社会のために（社会性・連帯性の原則）、営利を目的とせずに（非営利性）行う活動のことです。」（『あなたがはじめる 社会が変わる 市民活動ガイドブック』東京ボランティア・市民活動センター 2002）

この定義によれば、「市民運動」も「住民運動」も「NPO・NGO」の活動もそこに含まれると思うので、「市民活動」をそれらを含む総称的な概念、用語として用いたい。

「市民活動」の上位の概念として、「社会運動」があると思うが、「市民活動」は「市民たちが行

う活動」なので、社会運動のうち労働者が行う労働運動、学生が行う学生運動等は含まれない。また、市民が行うものであっても、「他者や社会のために行う活動」なので、市民が自分や自分たちのためにのみ行う趣味のための活動などは含まれないことになる。（労働運動や学生運動、市民の趣味のための活動にかかる資料の保存や公開が必要ないということでは、もちろんない。ここでとりあげる「市民活動資料」には、それらは含まれないということである）。

「市民活動」をそのように規定するとすれば、日本におけるより具体的な「市民活動」の範囲としては、1950年代後半からの市民運動、1960年代からの住民運動、1990年代半ばからのボランティア活動を含むNPO・NGOの活動がその対象となろう。さらに本稿では、「市民運動」、「住民運動」、「NPO・NGO」といった概念や用語がなく、「国民運動」、「大衆運動」、「サークル運動」などと呼ばれていたそれ以前の運動も、あとから考えれば、市民運動や住民運動、NPO・NGOの活動と共通する面をもっていると考えられるので、それらの運動も視野に入れて考えたい。

「市民活動」を以上のように規定するとして、次に「市民活動資料」は、どう考えるべきだろうか。2012年10月、「市民活動資料・情報センターをつくる会」の総会の際に行われた講演で、船橋晴俊氏（法政大学 環境社会学）は、「市民活動資料の含意」として次の4点を挙げた⁽¹⁾（番号は便宜上筆者が付した）。

- (1) 市民活動の中で生み出されてきた資料
- (2) 市民活動の中で収集されてきた資料
- (3) 市民活動を支える資料
- (4) 市民活動を記録する資料

実は、この講演のあのシンポジウムで報告者の一人として参加していた筆者は、「市民活動資料」について、「市民活動のなかで生み出されたり、集められた資料」という定義を用意していた⁽²⁾。この定義は、船橋氏があげた(1)(2)と用語もほとんど同じであった。この部分が「市民活動資料」の主要な部分になると思うので、少し説明しておこう。

まず、「市民活動のなかで生み出されたり」という点である。印刷物・出版物だけであれば「市民活動のなかで発行されたり」でいいだろうが、資料は、紙の印刷物や出版物ばかりではない。のちにも述べるように、モノ（博物資料）も含まれており、それらは「つくられた」と言つていいものである。従つて、それらをあわせて「生み出されたり」といった表現を用いたいと思う。

次に、「集められた資料」である。市民活動のなかでは、活動上必要とされるさまざまな資料が集められる。それらには、他の市民活動団体が生み出した資料のほかに、研究者、ジャーナリスト、芸術家、行政、議会、裁判所、企業等々によって生みだされるものがある。この辺の資料までを「市民活動資料」ということは、大方の同意を得られるだろう。ただ、「集められた資料」のなかで、例えば市民活動団体が集めた空襲・戦災関係の資料などはどうであろうか。私はそれらも、「市民活動の中で集められた資料」として「市民活動資料」のなかに加えていいのではないかと思う。

(1) 船橋晴俊「市民活動資料の活用に向けて」『市民活動資料・情報センターをつくる会 会員通信 拡大版』11号、2012.12。

(2) 平川千宏「市民活動資料 保存と公開の全国的な傾向」『市民活動資料・情報センターをつくる会 会員通信』13号、2013.10。

2007年の「市民活動資料センター基金創設集会」の折のシンポジウムで、そういうことを発言したところ、報告者の一人である山辺昌彦氏（わだつみのこえ記念館）から、わだつみの会が発行したものは「市民活動資料」といえるが、会が集めた戦没学生の遺品等は、「戦争資料」であつて「市民活動資料」とは言えないのではないかという指摘があった。私は、それらが「戦争資料」であると同時に「市民活動資料」であると言って、差し支えないのではないかと考えている。

船橋氏のあげた（3）（4）の部分に移ろう。先のシンポジウムまでの時点では、筆者はこれらについて思い至らなかった。しかし、考えてみれば確かに、市民活動のなかで生み出されたり、集められた資料でなくても、つまり市民活動の場にないものであっても、先にあげたようなさまざまな個人や団体によって生み出された資料で、市民活動に役立つ資料がある。それらを「市民活動資料」に加える必要があるだろう。ただ、船橋氏のあげる「（3）市民活動を支える資料」と「（4）市民活動を記録する資料」は、重なる部分もあると思うので、この二つを合わせて「市民活動に役立つ資料」と規定してはどうだろう。

以上を合わせて、ここでは「市民活動資料」を次のように規定したい。

- (1) 市民活動のなかで生み出された資料
- (2) 市民活動のなかで集められた資料
- (3) 市民活動に役立つ資料

最後に、「市民活動資料」の「資料」の範囲をあげておこう。

それらは、紙資料（印刷物、文書など）のほかに、音声資料（録音テープ）、映像資料（写真、ビデオテープ、映画フィルムなど）、マイクロ資料、電子資料（CD-ROM、DVDなど）、博物（モノ）資料など、広範囲の資料があげられよう。

2 「市民活動資料の所蔵機関・団体一覧」について

「市民活動資料」の定義、範囲等が以上のようなものであるとして、その保存や公開の全国的な状況はどうなっているだろうか。

本稿の末尾に、「市民活動資料の所蔵機関・団体一覧」を付したが、この「一覧」について説明しておこう。

筆者らは、かつて、全国で発行されるミニコミを収集・公開してきた住民図書館⁽³⁾の運営にかかってきた。住民図書館が埼玉大学に資料を移管して閉館した翌年（2002年）に、全体として市民運動や住民運動の資料をどうするかを検討するために、「市民・住民運動資料研究会」を発足させた。そして、2005年に、運動の資料が全国的にどうなっているかを把握するための全国調査を行い、翌年その結果を『市民活動資料の保存・整理・公開に関する全国調査 報告』としてまとめ、刊行した。

この調査では、現地調査として17の機関・団体を対象とし、アンケート調査では480の機関・団体・個人にアンケートを発送して202の機関等から回答を得た。

(3) 住民図書館については、次の文献を参照されたい。住民図書館25年史編集委員会編『住民図書館25年のあゆみ ミニコミを収集・公開・保存して』住民図書館、2001。

これらの調査対象をどのように選んだかというと、筆者はかねてからこの種のテーマに関心を持っていて、新聞、雑誌、図書、ミニコミ等から、市民活動資料を所蔵する機関や団体についての情報を集めていた。調査に当たってはそれだけでは足りないので、各種の団体名簿などから、資料を所蔵しているような機関、団体を選んで付け加えた。

今回の「一覧」は、その際の調査結果（報告書）を参考にし、さらに、その後も引き続き文献等（一部ウェブ上の情報）で把握してきたものをもとに作成したものである。

大規模な悉皆調査のようなものにもとづいているものではないので、漏れているところもあると思うが、一定量の資料を所蔵して公開しているところはかなりの程度把握されていると思うし、全国的な状況の概略はこれでつかめるのではないかと考えている。

なお、このリストは、市民活動資料の保存と公開の全国的な状況を知るためのリストであり、資料利用のためのガイドではない。次の課題としてはこうしたガイドが必要だと考えているが、今回は、機関・団体名（一部個人名）、所蔵資料群名など、必要最小限の記述にとどめている。

また、「所蔵機関」の一覧であって、資料が未公開のところも一部含まれている。したがって、資料利用等のためにこのリストを使用する場合には、あらかじめ当該の機関・団体等に問い合わせるなどしたうえで、利用してくださるようお願いする。

3 どんな主題の資料が所蔵されているか

「市民活動資料の所蔵機関・団体一覧」は、所蔵している資料の主題別に分けて記載した。

その主題の項目と、それぞれの項目にあげてある機関・団体の数を以下にあげる。

1、2の「市民活動総合」というのは、各主題にわたる資料を持っているという意味である。

「市民アーカイブ多摩（仮称）」は、他の府県で発行されているものも含むが、多摩、東京で発行されているものが主なので、2の「市民活動総合（地域）」に入れた。

主題ごとの数を見てみると、5の「空襲・戦時生活」から7の「基地」までは、4の「戦争・平和」を細分したものなので、大きくは「戦争・平和」に入る。その数をたすと52になる。（「沖縄」

1 市民活動総合（全国）	6	13 薬害・食品公害	3
2 市民活動総合（地域）	14	14 自然保護	10
3 政治・社会	17	15 災害・事故	24
4 戦争・平和	19	16 消費者問題・生協	3
5 空襲・戦時生活	11	17 人権	17
6 原水爆	11	18 障害者	3
7 基地	11	19 女性	7
8 沖縄（戦史・復帰・基地）	8	20 教育・子ども	7
9 環境・公害	20	21 福祉・保険	5
10 開発	5	22 町づくり	3
11 原子力発電	9	23 文化	9
12 産業廃棄物・ごみ	2	24 國際協力	4
		計	228

も加えると60)。同様に、9の「環境・公害」は、14の「自然保護」までを加えると、49になる。「人権」は、「障害者」「女性」を加えると、27である。他に多いのは、「災害・事故」の24であるが、これらは大部分、阪神・淡路、中越、東日本大震災関係の資料である。

4 資料を所蔵している機関・団体はどんなところか

資料を所蔵しているところを、機関・団体別にみてみよう。

大きな区分として、「大学」、「国公立機関」、「民間」の三つに分け、そのなかをさらに細分した。(「大学」は、国公立大学は「国公立機関」へ、私立大学は「民間」へと振り分けることも考えられるが、大学として一括した方がいいのではないかと考えてそうした)。

まず全体として、資料を所蔵しているところは非常に多様である。

大 学	28	国公立機関	86	民 間	114
国公立大学	12	国 立	8	学会・研究所	6
私立大学	16	公 立	78	図書館・文庫	6
		図書館	34	博物館・展示館	6
		公民館	2	資料館(室)	38
		博物館	7	アーカイブ	3
		資料館(室)	16	記念館	9
		文書館	5	市民活動支援機関	2
		文学館・記念館	6	国際協力機関	1
		市民活動支援機関	1	市民活動団体	36
		女性関係機関	4	個 人	5
		国際協力機関	1	その他	2
		その他	2		

多様であるのは、市民活動資料が、先に述べたように、主として図書館が所蔵しているような出版物や視聴覚資料、文書館が所蔵している文書類、博物館が所蔵している博物(モノ)資料など多岐にわたっており、また、しばしばそれらの資料が混在して所蔵されていることによると思う。

大学では、個別の資料群を所蔵しているところもあるが、法政大学大原社会問題研究所や立教大学共生社会研究センターのように、さまざまな資料群を多量に所蔵しているところもある。こういう例をみると、複数の資料群を多量に所蔵できるのは、やはり大学かなという気がする。両機関とも、書庫は満杯状態で新規の受け入れはなかなかむずかしいようだが、その拡充を期待するとともに、東京に限らず、他の地域にもこうした機関ができるのを望みたい。

国公立機関のうち、国立の機関で、やはり国立国会図書館の役割が重要だと思う⁽⁴⁾。

公立の機関では、図書館が多い。公立図書館では、資料として重視している「地域資料」の一環として所蔵しているところが多いと思う。公立図書館は、今指定管理者制度の導入など困難な状況

(4) 国立国会図書館と市民活動資料については、次の文献を参照されたい。平川千宏「市民運動・住民運動資料の収集、提供、保存」『山梨英和短期大学紀要』37号、2002.3。

もかかえているが、この面での一層の努力、進展を期待したい。資料館も多いが、ここで資料館というのは「民間」の方の資料館も含め、「資料館」を名乗っているところである。周知のように、図書館、博物館、文書館などは、法律や条例にもとづいてつくられ名称も与えられているが、「資料館」はそうではない。おそらく先に述べたようなさまざまな資料を扱っているので、「資料館」という複合的、総称的な名称を使っているのではないだろうか。

文書館は、もっと所蔵しているところが多くてよきそうに思うが、そもそも文書館の絶対数が少ない。公共図書館がまがりなりにも3,000以上あるのに対して、文書館の数は3桁に届かない。今までのところ、古文書や公文書に限っているところが多い。

民間の機関・団体も、大学、国公立の機関におとらず頑張っていると言つていい。

「市民活動団体」について説明すると、市民活動団体でも、資料館（室）や記念館、博物館等を持っているところは、それぞれのところに入れた。したがつて、ここにあげたところは、そうした施設までは持っておらず、資料も事務室やメンバーの自宅においてあると思われるケースである。

民間で資料を所蔵している場合は、所蔵資料の内容や、展示をしている場合は展示内容などについて、どこからも制約を受けたりしない。その意味では、民間でできるなら、そうした方がいいだろう。ただ、財政的には、もちろん大学や国公立の機関の場合も制約はあるが、民間の場合にはいっそうきびしいといえるだろう。

国公立大学や国公立機関を「公」とし、民間を「民」として、「公」と「民」との関係で言えば、当初から「民」でやっているところがある一方、いくつかの空襲・戦災関係の資料所蔵機関のように、当初は「公」に設立を求めたがそれが実現せず、やむなく「民」で始めたところがある。また、かつての住民図書館や近年のイタイイタイ病資料館のように、「民」から「公」に移行したところもある。逆に、例は少ないと思うが、筆者らがやっている「市民活動資料・情報センターをつくる会」のように、「公」が投げ出した資料・事業を「民」が救い上げて引き継いでいるケースもある。

（ひらかわ・ちひろ 元市民・住民運動資料研究会）

付 市民活動資料の所蔵機関・団体一覧

機関・団体（一部個人）が所蔵している資料の主題によって、以下のように分けた。

1 市民活動総合（全国）	9 環境・公害	17 人 権
2 市民活動総合（地域）	10 開 発	18 障害者
3 政治・社会	11 原子力発電	19 女 性
4 戦争・平和	12 産業廃棄物・ごみ	20 教育・子ども
5 空襲・戦時生活	13 薬害・食品公害	21 福祉・保健
6 原水爆	14 自然保護	22 町づくり
7 基 地	15 災害・事故	23 文 化
8 沖縄（戦史・復帰・基地）	16 消費者問題・生協	24 國際協力

それぞれのなかは、都道府県の南から北の順に配列し、同じ都道府県のなかは機関・団体名の50音順に配列した。

記載事項は、最初に機関・団体名をあげ、そのあとに都道府県名をかっこに入れて記載した。（ただし、機関・団体名で、都道府県名が分かる場合はそれを省略した）。2行目以下に、所蔵資料を記載した。（この場合も機関・団体名で所蔵資料が推測できる場合はそれを省略した）。

1 市民活動総合（全国）

法政大学大原社会問題研究所（東京）

原水協資料、松川事件裁判資料、国民文化会議資料

法政大学大原社会問題研究所 環境アーカイブズ資料公開室

スモン病、サリドマイド関係資料、「自然の権利」運動、徳山ダム建設反対運動資料、反原発運動関係の映像資料、市民活動団体発行のミニコミなど

立教大学共生社会研究センター（東京）

国内・海外市民団体発行のミニコミ、「ペ平連」資料、川崎製鉄公害裁判資料、練馬母親連絡会資料、横浜新貨物線反対運動資料、宇井純公害問題コレクション、鶴見良行文庫など

国立国会図書館（東京）

市民活動団体発行の図書・パンフレット・ミニコミ、旧日本社会党国民運動局旧蔵資料など

神奈川近代文学館

野間宏文庫のなかの狹山事件、国民文化会議資料、広津和郎文庫のなかの松川事件資料

藤沢市湘南大庭市民図書館（神奈川）

片山哲文庫、羽仁五郎文庫、石堂清倫文庫、江口朴郎文庫、古在由重文庫の中の平和運動をはじめとする各種運動の資料

2 市民活動総合（地域）

尼崎市立地域研究史料館（兵庫）

尼崎にかかわる各種市民活動資料

ボランティア・市民活動ライブラリー（大阪）

NPO、ボランティア団体の年史、事業報告書、新聞切り抜きなど

平和文化資料館・ゆきのした（福井）

『ゆきのした』バックナンバー、中野鈴子を中心とした社会・文化運動資料、福井空襲、福井地震関係資料など

松本市文書館（長野）

市民会館建設問題資料、松本市青年団文書、地区青年会文書など

飯田市歴史研究所（長野）

満州移民関係資料、学校資料、平和運動資料など市民アーカイブ多摩（仮称）（東京）

多摩、東京で発行されるミニコミ、ビラ、ポスターなど

たましん地域文化財団歴史資料室（東京）

「ふだん記」運動資料、多摩地域の地域史研究団体機関誌、ミニコミ誌など

くにたち郷土文化館（東京）

国立の浄化運動、文教地区指定運動等の資料

国立公民館図書室（東京）

市内市民団体発行のミニコミ

日野市立図書館市政図書室（東京）

日野市内、多摩地域の市民団体発行のミニコミ、ビラ

町田市立自由民権資料館（東京）

市内市民団体発行のミニコミ、浪江虔関係資料（保管）

かながわ県民活動サポートセンター

県内市民団体発行のミニコミなど

横浜市史資料室（神奈川）

横浜空襲、横浜新貨物線反対運動資料、市内自治会資料など

仙台市民活動サポートセンター情報サロン（宮城）

市民団体発行のミニコミ、チラシ、ポスターなど

3 政治・社会

鹿児島県立図書館奄美分館

奄美の日本復帰運動資料

ありらん文庫（福岡）

作家・林えいだい所蔵の朝鮮人強制連行問題等の資料

山代巴記念室（広島）

山代巴関係資料

朝日新聞阪神支局 小尻記者襲撃事件資料室（兵庫）

（旧）箕面忠魂碑違憲訴訟を支援する会（大阪）

藤沢市文書館（神奈川）

荒畠寒村関係資料

市川房枝記念会図書室（東京）

婦人参政運動をはじめ市川房枝関係資料

朝鮮大学校（東京）

三鷹事件、松川事件、メーデー事件等にかかわった弁護士・布施辰治関係資料

明治大学図書館中央図書館（東京）

同前

福島大学松川資料室

松川事件関係資料

東北大学大学院法学研究科附属法政資料調査室（宮城）

同前

東北歴史博物館（宮城）

布施辰治関係資料

たかはた文庫（山形）

栗原彬寄贈書、有機農業関係資料

市民活動資料——保存と公開の全国的状況（平川千宏）

岩手大学附属図書館 小繫事件文庫
野添憲治（秋田）
　　中国人・朝鮮人強制連行、花岡事件関係資料
花岡平和記念館（秋田）
　　花岡事件関係資料
空知民衆史講座（北海道）
　　朝鮮人、日本人のタコ労働者・犠牲者に関する資料
　　料

4 戦争・平和

岡まさはる記念長崎平和資料館
　　韓国・朝鮮人被爆者関係、韓国・朝鮮人・中国人
　　強制連行・労働関係資料
兵士・庶民の戦争資料館（福岡）
　　兵士の遺品、日記、写真、遺書など
平和資料館・草の家（高知）
　　戦争関係博物資料のほか、同館発行の図書、ニュ
　　ーズレター
大阪市立大学大学史資料室
　　末川博の平和運動、人権問題等に関する資料
平和人権子どもセンター・教科書資料館（大阪）
　　日本・アジアの教科書、平和・人権に関する資料
立命館大学国際平和ミュージアム（京都）
　　戦争と平和に関するさまざまな分野の博物資料、
　　文書、図書
立命館大学図書館 末川文庫
　　末川博の平和運動、人権問題等に関する資料
杉原千畝記念館（岐阜）
　　リトニア領事代理時代に、ビザを発行して6千
　　人のユダヤ人を救った杉原千畝関係の資料
満蒙開拓平和記念館（長野）
　　「らいてうの家」（長野）
　　平塚らいてうの平和運動関係資料
わだつみ平和文庫（中村徳郎・克郎記念館）（山梨）
　　元わだつみ会理事長・中村克郎が集めた兄・徳郎
　　の手記、写真のほか、戦争・平和に関する図書、映
　　像資料
女たちの戦争と平和資料館（東京）
　　従軍慰安婦関係資料
ホロコースト教育資料センター（東京）
　　ホロコースト（ナチスによるユダヤ人大虐殺）関
　　係資料
わだつみのこえ記念館（東京）
　　戦没学生の資料など
JR総連資料室（東京）
　　合作社事件（旧満州国の農業協同組合・合作社関

係者に対する思想弾圧事件）関係資料
明治大学平和教育登戸研究所資料館（神奈川）
　　旧日本陸軍の秘密戦のための兵器・資材を研究開
　　発・製造した登戸研究所に関する資料
中帰連平和記念館（埼玉）
　　旧日本軍戦犯の供述書や帰国後の資料
アウシュヴィツ平和博物館（福島）
秋田市立中央図書館明徳館 石川達三記念室
　　石川達三著『生きている兵隊』裁判記録

5 空襲・戦時生活

岡山空襲資料センター
神戸市立兵庫図書館 戦災資料室
神戸空襲関係資料
大阪国際平和センター（ピースおおさか）
　　大阪大空襲関係資料
奈良県立図書館情報館
　　戦争体験、戦時中の生活を記録した資料
戦争と平和の資料館・ピースあいち
愛知県の空襲関係資料
長野県千曲市上山田温泉「温泉資料館」
　　東京・世田谷区の光明国民学校（肢体不自由児の
　　学校）の集団疎開関係資料
静岡平和資料センター
静岡空襲関係資料
山梨平和ミュージアム
　　甲府空襲の資料、石橋湛山関係資料
東京大空襲戦災資料センター
八王子郷土博物館
　　八王子空襲関係資料
横浜市中央図書館
　　横浜の学童疎開関係資料

6 原水爆

長崎原爆資料館
国立広島原爆死没者追悼平和祈念館
　　被爆体験記13万編、被爆者証言ビデオ240人分
　　以上
広島県立図書館
　　原爆の記録・手記、被爆2年後の広島の写真
　　4,588枚
広島女学院大学図書館
　　原爆詩人・栗原貞子記念平和文庫、卒業生・中原
　　史子記念平和文庫
広島大学文書館平和学術文庫
　　ジャーナリスト・金井利博、元広島市長・平岡敬、

元広島文化センター理事長・大牟田稔、元広島原水協理事長・佐久間澄等の旧蔵資料
広島平和記念資料館（原爆資料館）
原爆、平和関係資料
焼津市歴史民俗資料館 第五福竜丸コーナー（静岡）
杉並区立郷土博物館（東京）
原水爆禁止運動資料
第五福竜丸展示館（東京）
日本原水爆被害者団体協議会（被団協）（東京）
神奈川県立公文書館
原水爆禁止運動資料

7 基 地

石川県立図書館
内灘米軍射撃場反対運動資料
内灘町歴史民俗資料館（石川）
同前
砂川を記録する会（東京）
砂川闘争の写真
砂川学習館 立川市砂川地域歴史と文化資料コーナー（東京）
砂川闘争関係資料
立川自衛隊監視テント村（東京）
反戦・反基地、憲法、反天皇制関係資料
立川市立中央図書館（東京）
砂川闘争裁判資料
福島京子（東京）
旧砂川基地拡張反対同盟所蔵の砂川闘争資料
横田基地飛行差し止め訴訟団（東京）
裁判、騒音調査資料
横浜緑区米軍機墜落事故平和資料センター（神奈川）
逗子市立図書館（神奈川）
池子米軍住宅建設反対運動資料
北海道立図書館
恵庭事件、長沼事件関係資料

8 沖縄（戦史・復帰・基地）

沖縄県平和祈念資料館
復帰運動、平和運動資料
沖縄国際平和総合研究所
元沖縄県知事・大田昌秀収集の沖縄関係資料
宜野湾市民図書館（沖縄）
基地関係資料
対馬丸記念館（沖縄）
戦時中沖縄からの疎開者を乗せて航海中、米軍によって撃沈され多数の死者を出した対馬丸関係の資

料
名護市立中央図書館（沖縄）
基地関係資料
ヌチドウタカラの家（反戦平和資料館）（沖縄）
伊江島土地闘争関係資料
ひめゆり平和祈念資料館（沖縄）
ひめゆり学徒関係資料
法政大学沖縄文化研究所（東京）
1950～60年代の沖縄の復帰運動、基地関係資料

9 環境・公害

アジア砒素ネットワーク（宮崎）
砒素関係資料
川原一之（宮崎）
土呂久鉱毒事件関係資料
熊本学園大学水俣学研究センター
水俣病関係資料
水俣市立水俣病資料館（熊本）
水俣病センター相思社 水俣病歴史考証館、資料室（熊本）
みずしま財団（岡山）
倉敷大気汚染公害関係資料
尼崎公害患者・家族の会（兵庫）
尼崎大気汚染公害関係資料
瀬戸内の環境を守る連絡会（兵庫）
兵庫県立大学姫路新在家学術情報館
入浜権運動資料
大阪電気通信大学
関西水俣病裁判資料
西淀川・公害と環境資料館（エコミューズ）（大阪）
西淀川の大気汚染公害関係資料
公害を記録する会（三重）
四日市公害関係資料
四日市市立四日市公害資料室（三重）
同前
富山県立イタイイタ病資料館
新潟県立環境と人間のふれあい館（新潟水俣病資料館）
富士常葉大学附属図書館 飯島伸子文庫（静岡）
環境社会学者・飯島伸子旧蔵資料
神奈川県立川崎図書館
川崎公害裁判資料
一橋大学経済研究所資料室（東京）
都留重人旧蔵の環境・公害問題等の資料
浦安市郷土博物館（千葉）
「黒い水事件」（本州製紙江戸川工場事件）関係資料

市民活動資料——保存と公開の全国的状況（平川千宏）

足尾環境資料室（栃木）

宇井純の「東大自主講座」資料、足尾鉱毒事件、足尾に緑を育てる会関係資料

10 開発（ダム・空港）

子守唄の里五木を育む清流川辺川を守る県民の会（熊本）

川辺川ダム建設問題資料

細川内（ほそごうち）ダム反対運動資料館（徳島）

岸和田市立図書館（大阪）

関西新空港関係資料

千葉県立中央図書館

成田空港関係資料

成田空港 空と大地の歴史館（千葉）

11 原子力発電・エネルギー

川内原発建設反対連絡協議会（鹿児島）

神山治夫（大阪）

阿武山原子炉設置反対運動資料

京都反原発めだかの学校

長野ソフトエネルギー資料室

原子力情報資料室（東京）

たんぽぽ舎（東京）

原発、DU（劣化ウラン）関係資料など

ミニコミ図書館（東京）

原発関係を中心とするミニコミ

福島原発災害情報センター

南相馬市立図書館（福島）

福島原発事故関係資料

12 産業廃棄物・ごみ

こころの資料館（香川）

豊島（てしま）の産業廃棄物関係資料

日の出の森・支える会（東京）

日の出廃棄物処分場建設問題資料

13 薬害・食品公害

森永ヒ素ミルク中毒事件資料館（岡山）

エイズ資料館（奈良）

薬害エイズ関係資料

カネミ油症被害者支援センター（東京）

14 自然保護

吉野川みんなの会（徳島）

吉野川河口堰問題をはじめとする自然環境保護関係資料

柿田川みどりのトラスト（静岡）

柿田川の湧水、自然環境保護関係資料

日本自然保護協会（東京）

日本ナショナルトラスト（東京）

ナショナルトラスト、文化財、歴史的環境、自然景観関係資料

国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所（神奈川）

多摩川の自然を守る会、柴田隆行所蔵の多摩川の自然保護に関する資料

丹沢資料保存会（神奈川）

自然保護を含む丹沢関係資料

木更津市立図書館（千葉）

干潟保全、環境保全関係資料

トトロのふるさと財団（埼玉）

トトロの森をはじめとする自然保護関係資料

奥利根自然センター（群馬）

尾瀬、奥利根の自然保護関係資料

沼田市立図書館 尾瀬展示コーナー、尾瀬・森林文化資料室

尾瀬の自然保護関係資料

15 災害・事故

大牟田市立図書館（福岡）

三池炭鉱炭じん爆発事故関係資料

伊丹市立中央図書館（兵庫）

阪神・淡路大震災関係資料

伊丹市立博物館（兵庫）

同前

神戸市立中央図書館 1.17文庫（兵庫）

同前

神戸大学附属図書館 震災文庫（兵庫）

同前

震災・まちのアーカイブ（兵庫）

同前

阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター資料室（兵庫）

同前

人・街・ながた震災資料室（兵庫）

同前

兵庫県立図書館 フェニックス・ライブラリー

同前

長岡市立中央図書館文書資料室（新潟）

中越大震災関係資料、東日本大震災避難所掲示物

長岡震災アーカイブセンター（新潟）

中越大震災関係資料

新潟県立図書館	部落問題をはじめ各種人権に関する資料
中越大震災・中越沖地震関係資料	部落問題研究所（大阪）
筑波大学知的コミュニティー基盤研究センター（茨城）	世界人権問題研究センター（京都）
福島県双葉町の震災・原発事故被災関係資料	国際人権問題、部落問題等の資料
福島県立図書館東日本大震災福島県復興ライブラリー	部落解放・人権研究所（京都）
東日本大震災関係資料	監獄人権センター（東京）
福島県歴史資料館	高麗博物館（東京）
東日本大震災、原発事故関係資料	在日韓国・朝鮮人問題、浮島丸事件関係資料など
石巻ニューゼ（宮城）	国立ハンセン病資料館（東京）
石巻日日新聞社の東日本大震災時の手書きの壁新聞、被災地の写真など	在日韓人歴史資料館（東京）
河北新報震災アーカイブ（宮城）	在日韓国人・朝鮮人問題資料
東日本大震災関係資料	産業・教育資料室 きねがわ（東京）
仙台市民図書館 3.11震災文庫（宮城）	皮革と油脂のまち、木下川（きねがわ）の産業資料と木下川小学校66年の人権教育資料
同前	東村山市立中央図書館、同秋津図書館（東京）
名取市 震災記録室（宮城）	ハンセン病、多摩全生園関係資料
同前	文化センター・アリラン（東京）
東松島市立図書館（宮城）	梶村秀樹収集の在日韓国・朝鮮人の人権運動資料など
同前	LOUDライブラリー（東京）
宮城県図書館 東日本大震災文庫	セクシャル・マイノリティ関係資料
同前	草津町立図書館（群馬）
東北大大学災害科学国際研究所 東日本大震災アーカイブプロジェクト「みちのく震録伝」	栗生楽泉園、ハンセン病関係資料
同前	知里幸恵 銀のしづく記念館（北海道）
岩手県立図書館 震災関連資料コーナー	「アイヌ神謡集」の著者・知里幸恵関係の資料
同前	
岩手大学情報メディアセンター図書館 自然災害関連資料コーナー	
東日本大震災をはじめとする自然災害関係資料	
16 消費者問題・生協	
協同組合図書資料室（東京）	18 障害者
生活クラブ生協関係資料	障害者問題資料センター りぼん社（大阪）
国民生活センター情報資料館（東京）	障害者、差別・人権問題資料
消費者問題を中心とする生活に関する資料	ピア大阪情報資料室
日本消費者連盟（東京）	障害者団体発行の機関誌や各種雑誌、新聞切り抜き
消費者問題、消費者運動資料	東京都障害者福祉会館図書資料室
	障害者団体発行のミニコミなど
17 人 権	
奄美市名瀬公民館 ハンセン病文庫（鹿児島県）	19 女 性
邑久（おく）光明館（岡山）	大阪府立男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）
ハンセン病関係資料	女性関係、女性運動資料
長島愛生園歴史館（岡山）	望月百合子記念館（山梨）
同前	戦前・戦後にわたり、女性運動、文化運動に携わった望月百合子関係資料
大阪人権博物館（リバティおおさか）	アジア女性資料センター（東京）
	女性の人権に関する資料
	東京ウィメンズプラザ図書資料室
	女性関係、女性運動資料

市民活動資料——保存と公開の全国的状況（平川千宏）

男女共同参画センター横浜 情報ライブラリ（神奈川）
同前
国立女性教育会館女性教育情報センター（埼玉）
女性団体等発行のミニコミ、新聞切り抜き、奥む
めお関係資料など
埼玉県男女共同参画推進センター 情報ライブラリー
女性関係、女性運動資料

20 教育・子ども

首都大学東京附属図書館
家永教科書裁判資料
和光大学附属梅根記念図書館（東京）
同前
全国不登校新聞社（東京）
不登校問題資料
日本作文の会（東京）
全国の学級文集、地域の文詩集
親子読書地域文庫全国連絡会（神奈川）
親子読書・地域文庫関係資料
国分一太郎資料展示室、国分一太郎資料収蔵室（山
形）
教育評論家・運動家・国分一太郎関係資料
ふきのとう文庫（北海道）
障害のある子どものための図書館「ふきのとう文
庫」関係資料

21 福祉・保健

日本福祉大学（愛知）
朝日訴訟関係資料
保健婦資料館（長野）
高齢者社会をよくする女性の会（東京）
寿町関係資料室（神奈川）
横浜のドヤ街・寿町関係資料
深沢晟雄資料館（岩手）
旧沢内村の深沢村長を中心とする医療、保健、福
祉行政に関する資料

22 町づくり

西山卯三記念すまい・まちづくり文庫（京都）
妻籠を愛する会（長野）
町並み保存関係資料
東京ランボ
町づくり関係資料

23 文化

北九州市立文学館（福岡）
自分史資料
京都文教大学 鶴見和子文庫
生活記録運動資料
日本自分史センター（愛知）
「ふだん記」運動資料
松本市歴史の里 山本茂美展示コーナー（長野）
人生雑誌『葦』の発行、「葦会」の活動などにか
かわった作家・山本茂美関係資料
日本エスペラント学会（東京）
エスペラント関係資料
八王子市立中央図書館（東京）
「ふだんぎ」運動資料
映画同人「シネ・アソシエ」（神奈川）
映画監督・土本典昭関係資料
日本地名研究所（神奈川）
地名関係資料
日本大学総合学術情報センター（埼玉）
1950～60年代のサークル誌

24 國際協力

日本チェルノブイリ連帯基金（長野）
シャンティ国際ボランティア会（東京）
国際ボランティア関係資料
NGO市民情報センター（東京）
NGO発行のニュースレターなど
神奈川県立地球市民かながわプラザ NGO情報アーカ
イブセンター
同前